

## 障がい理解・啓発活動「寒川駅北口公園ライトアップ」に対する意見について

## ■ライト・イット・アップ・ブルーの実施について

賛同します	8 件
賛同しますが、その他意見があります	2 件
意見があります	7 件

## 『賛同します』を選んだ理由

1	●障がい理解・啓発のイベントを実施したい。無理のない規模で開催できればと思います。
2	<p>・企画自体は町民にもアピールしやすく、委員の方の賛同が得られれば、相談支援事業所などが準備を進めるのが良いと思う。時期については、自閉症の啓発デー以外の日でも開催して良いかの確認次第だが、4月2週目～3週目に変更してはとも思う。（時期の変更により、他地域から物品をお借りできたら、費用を抑えられる可能性もある）</p> <p>・今回は試行的な開催になると思うので、まずは始めてみるということを第一目標とし、内容は調整しても良いと考えています。たとえば、販売の内容・時間帯などは可能な時間に変更するとか、ライトアップが難しい場合は、青をモチーフとした他のアピール方法を検討するなど。（青い折り紙を折ってタワーに見立てた【オブジェ】を作ることなど）</p> <p>・小さい企画となっても、細々実行を積み上げていくことができれば良いと思います。</p>
3	・藤沢市では同時期に作品展を行ったのですが、相談支援事業所の利用者達は既に来年度の作品展を楽しみに、作品を作っている。当事者の方々も楽しめるような周知・啓発イベントが増えるといい。
4	・アンケート通知を貰ってから自治会長連絡協議会が無かったため個人の意見となりますが、第1回地域自立支援協議会の時点でライト・イット・アップ・ブルーの話は出ており、もう少し早いアンケートの配布は出来なかったのか。楽しみにしている障がいがある方が可哀想だと思う。
5	・民生委員定例会での意見が集約できず、個人の意見となりますが、6月の報告にあるように、障がい理解・周知が一番大事だと思います。啓発活動の例としての術としては、「ライト・イット・アップ・ブルー」はとても大事な行事だと思います。費用は他地区にあわせて無料で、日程も4月2日がいいと思います。
6	<p>・自閉症は最も理解されにくい障がいであり、自閉症スペクトラムという考え方の中では、様々なタイプの特性があるので一般の方には分りにくい障がいでもあります。</p> <p>・そうした「生きづらさ」に繋がる障がいについての、国連が定める啓発デーに一般の人の心に残る取り組みを実施するのは、町としても参加していくことは必要であると考えます。</p>
7	・町内での理解が深まり、周知につながっていけばいいと思います。

## 『賛同しますが、その他意見があります』を選んだ理由

8	<p>・ライト・イット・アップ・ブルーについて、『世界自閉症啓発デー』として国連が定めた週間として、自閉症の会の啓発として取り組むことは重要と考えます。</p> <p>・団体の意義については理解しますが、4月の第1週となると、日本の場合、各団体や行政等では年度切替の時期であり、一番忙しい時期でもあります。イベント実施については、多くの人の賛同が得られるか心配。</p> <p>・各障がい者団体にも啓発デーがあり、国連が定めた障害者週間もありますので、それらの取り組みも視野に入れて対応する必要があります。これらを考慮されれば各団体も参加可能と考えます。</p>
9	<p>・趣旨としては賛同します。しかしながら、病院という性質上、ライトアップなどの具体的な施策は行うことができません。</p> <p>・配布のチラシなど、コミュニケーションツールなどのプリントを載せ、一般の方の目に触れる機会を作ってはと思います。</p>

## 『意見があります』を選んだ理由

10	<p>●自閉症啓発デーなので、私たちの会は12月の障がい者週間に参加しているため、個々の障がい別啓発デーには参加しません。参加場所の駐車場などのこともあり、困難です。</p>
11	<p>●ライトアップは行ってもいいと思うが、町地域自立支援協議会という名称が4月2日の自閉症啓発デーに付くことで、逆に自閉症啓発デーの意味合いが薄くなってしまふことが心配。</p> <p>・4月2日に展示用パネルを各団体で準備することとなっていますが、展示自体はありがたいのですが、自閉症啓発デーに自分の協会の展示をするのは、内容が違うのかなと思う。</p> <p>・各団体、12月の障がい者週間であれば展示などの内容も合うので、障がい者週間の方にもっと力を注ぐべきでは？</p>
12	<p>●企画自体はいいものだと思うが、私たち他協会が参加するにはどうしたらいいのか…。私たちの会員が自ら活動するのは大変なことであり、みなさんの活動を見させていただき、今後関わられるようならば参加したい。</p>
13	<p>●当会では、町地域自立支援協議会では行うべきではないと考えています。</p> <p>・「世界自閉症啓発デー」を知らない人が多く、馴染みがないのに、いきなり4月2日にブルーにライトアップするのは唐突であり、世界自閉症啓発デーを後押しするような、片寄った意見になりかねない。まずは「茅ヶ崎地区自閉症児者親の会」が独自に行ってみてはどうか？その後、各団体の意見を聞いたり、協力を求めたりしてはどうか？</p> <p>・イルミネーション機器の費用が無料とか、施設側（どこの？）の社会貢献として無料にしてもらうという点も疑問です。その部分も実施した上で確認できなければ、前に進めないと思っています。</p> <p>・啓発活動という点では、毎年12月の障がい者週間で行っていたティッシュ配りが無くなってしまったので、それに替わる活動を検討することの方が重要ではないかと思う。</p>
14	<p>【寒川町事業所連絡会の中で出ていた意見をまとめていただきました】</p> <p>・『世界自閉症啓発デー』ということなので、他の障がい者団体が参加することは、どこまで理解が得られているのか？（慎重に考えている）</p> <p>・開催の時期も4月というところで、町を含め各事業所とも年度の始まりの忙しい時期というところが、どういう形で参加できるのか悩ましいところ。</p> <p>・出来ることに限界があるというところは、各事業所ともに持っていると思います。</p>
15	<p>・障がい理解啓発活動の実施については、必要があると考えます。今回の「世界自閉症啓発デー」に併せての開催になると、障がい児者の理解、啓発活動が逆に混乱が生じるのではないかと。</p> <p>・あくまでも、「ライト・イット・アット・ブルー」は、自閉症啓発デーとして町民が知りえる事の方が良いのではないかと思います。</p> <p>・毎年12月に障がい者週間に合わせて、社会福祉協議会と福祉団体が街頭でティッシュやファイルを配布していた。現在にっこりマーケットは行われているが、町民の関心をどの程度広げられているかも明確ではないように思う。 もう少しそれらを見直し、障がい理解、啓発活動の方法を検討するのが良いのではないかと思う。</p>